

2020年 3月 3日

yhs公演「14歳の国」上演中止について
会場からのメッセージ

日頃、レッドベリースタジオをご支援、ご利用いただき誠にありがとうございます。

来る3月6日からレッドベリースタジオで開催予定だったyhs公演について、折から新型コロナウイルス問題で公演中止が相次ぐなか、劇団は、周到な対策を講じたうえで公演を実施、との意向でした。2月28日には北海道知事から緊急事態宣言が出され、3月1日まで状況を見守ってきましたが、この時点で、計画通りの開催は難しいと判断し、会場側として「延期、またはライブ配信(会場費無料)」の提案を致しました。これに対し劇団で話し合いの結果、中止との判断になりました。

私は今回の公演「14歳の国」をとっても楽しみにしていました。面白い作品を、魅力あるキャストが3チーム交代で上演するもので、小さな空間を活かして使っていただける好企画です。

しかしコロナウイルスに関する様々な情報のうち、自分なりに信頼できると思うものを総合すると、症状のない感染者がすでに多数、市中に居て、そこから免疫力の弱い人たちに感染している、という状況を認識しました。ライブハウスや、屋形船や、ホットヨガスタジオに比べれば、この演劇公演は静かに座って観劇するだけで危険性は少ないと言えますが、数十人が2時間程度、閉じられた空間に滞在することには変わりはありません。マスク、手洗い、アルコール消毒など様々な対策を講じたとしても、ウイルスを完全にシャットアウトすることは困難だろうと思います。

3月2日専門家会議の見解として「都市部の10代後半～30代の、無症状の若年層が、気付かずに感染拡大」と発表されました。しかし無症状で移動、行動する人は若年層とは限りません。仕事や出張でいわゆる濃厚接触や移動が多いのは、むしろ中年熟年層ではないかと思います。70代の私自身、たまたま2月15日に大阪梅田に宿泊しました。感染を拡げたとされるライブがこの日大阪で行われていたことを、後に知りました。私は元気ですが、自分が感染源になる可能性があることを知りました。

そのような経緯から今回、誠に残念ですがyhsに計画の変更をお願いすることになりました。上演は中止となりますが、公演の収録については納得のいくものとなるよう最大限の協力を致します。

レッドベリースタジオでは、yhsのほかにもキャンセルがあり、事態が収束したらぜひあらためて公演を計画してくださるようお願いしています。

今後みなさまとご相談の上、可能な限りの協力を致します。この経験をパワーにかえて、素敵な演劇創造に備えましょう。よろしく願いいたします。

レッドベリースタジオ主宰
飯塚 優子